首都大学東京 都市環境科学研究科

寄付講座(東京都都市づくり公社)特任助教募集について

１　担当科目

①「参加型デザイン実習」（前期）(主担当 饗庭伸准教授)

②「都市空間プランニング演習」(後期)(主担当 饗庭伸准教授)

③「グローバル都市東京研究」(通年)(主担当 山本薫子准教授)

上記３つの授業はそれぞれ学生（学部生および大学院生）が最大で20名程度履修するが、いずれも数人でユニットを組んで進める演習となる。特任助教はそのユニットのいくつかを常勤教員とともに担当し、自身の専門的な視点からの助言、指導を行う。また、授業全般にかかる業務（教材の準備、学外演習の会場準備や学外との調整、履修者や共同演習相手校との連絡調整、授業成果をまとめた報告書の作成、成果のウェブサイトの公開等）を担当する。

授業の情報は以下を参照のこと。  
参加型デザイン実習

　https://www.facebook.com/participatorydesignstudio/?fref=ts

　グローバル都市東京研究

　　http://www.ues.tmu.ac.jp/cus/\_src/sc1196/tokyo\_st2016\_0516/index.html

　※都市空間プランニング実習についてはありません。

２　勤務条件及び任期:

　月 16 日分の勤務(通年)

　毎年契約更新、3年任期(2017年度、2018年度、2019年度)

　研究室(共有)を使用可能

３　応募の条件:

①博士号、専門職大学院学位又はそれらと同等の専門的な知識・業績を有する者。

②都市研究に関する素養があり、授業の主な対象地である東京に最低限の土地勘がある。

③英語の能力。流暢でなくて構わないので英会話が可能である、英語でEメールが書ける、学生の英文レポートの内容チェックができる。

④2017年10 月下旬に予定されている上海でのスタディーツアー(2日間)に同行可能であること、11 月下旬に予定されている東京でのスタディツアーに準備段階から参加可能であること。

４　必要書類

A 履歴書（指定書式あり）

B 研究業績調書（指定書式あり）

C 演習企画書（書式自由）

　以下について、それぞれ500文字程度の演習企画提案書を作成する。採用後に実際に担当する授業の企画提案である。

　参加型デザイン実習：ニュータウンの屋外空間に学生が自分達でパブリックスペースを豊かにする空間を計画、設置し、１週間実験的に運用する演習の前半において、学生たちに６週間（６回）でどのように計画を立案させるか。

　都市空間プランニング演習：実在するニュータウンの基本的な計画（造成、道路網、公園緑地、住宅等）を学習した上で、テーマを絞って６週間（６回）で学生に学習させる演習において、学生たちにどのようなテーマを与え、それについてどのように調査、演習を行うか。

　グローバル都市東京研究：学生たちがアジアの学生を東京に案内するスタディツアーを企画する授業において、６週間（６回）で学生たちにどのようなテーマを与え、それについてどのような調査や演習を行ってスタディツアーを企画するか。

５　選考方法・スケジュール

①応募書類締め切り　2017年3月21日　電子メールで応募のこと

　上記A、B、Cの書類を揃えて電子メールで応募する。

②採用の面接　2017年3月27日-30日

　１次書類選考ののち、候補者には上記の日程で面接を行う。会場は原則として首都大学東京南大沢キャンパスで行う。  
③採用予定日　2017年5月1日　（初年度のみ11ヶ月の雇用となる）

６　申し込み・問い合わせ先

首都大学東京　都市環境学部　建築都市コース　准教授　饗庭伸（あいばしん）　aib@tmu.ac.jp

なお、担当する科目の内容について、問い合わせ先まで連絡をいただければ、 2017 年度シラバス、2016年度授業報告を送付いたします。お気軽にお問い合わせください。